

[延喜式]

*延喜式とは「律令」の施行細則。律令とは孝徳天皇の時に中大兄皇子を皇太子として大化元年から5年(西暦650年)にかけてつくられた法律であり、憲法のようなもの。

その施行細則に当たるものが弘仁式とか定観式として出され、続いて延喜式が発せられた。延喜式神名帳は、平安時代中期にまとめられた「延喜式」(西暦905年～927年)の巻九・十の神名式上・下の総称。その延喜式の神明帳に記載されている神社が延喜式内社といわれている。この神社では、国の行事・儀式として祭礼が行われた。